



品川女子学院創立90周年記念 芳葉会企画対談
「とびらの向こうの90年」(1)

品川女子学院
理事長

漆 邦臣
先生

×

新成人

平成24年度卒業生

(右から)

中村彩音さん (昭和大学薬学部 在学中)

中西友美さん (千葉大学法政経学部 在学中)

坂本夏希さん (早稲田大学文化構想学部 在学中)

山越梨沙子さん (慶應義塾大学総合政策学部 在学中)



——ご成人おめでとつございます！

本日は『成人を祝う会』幹事としてお忙しい中、ご協力ありがとうございます。今年1年、品女の創立90周年を10代から90代の卒業生みんなで祝う企画初回として、80歳の理事長先生と、20歳のみなさんにご参集いただきました。

まずハタチになってみて、いかがですか？

中西.. まだ未熟ですが、徐々に責任と自覚をもって、今まで大学に精一杯だったところを今日集まれたことをきっかけに、改めてみんなと繋がっていききたいです。
——今日の『成人を祝う会』は、何人お集りですか？

中西.. 一次会で182人、二次会で約80人です。

漆.. 1学年大体200人でしょ？今までで一番大勢だ。
坂本.. すごい！

漆.. 今年は260万人が成人して、全国的にもちょっと増えてるみたいだね。
——どうですか？ハタチになって。

中村.. 子どもの頃は、もう少し大人びていると思っていたんですが… (笑)

山越.. 年末選挙に行って、ちょっと実感しました (笑)
漆.. そうか、今の成人の人は、選挙に行ったことのある人ない人が、混ざっているんだね。

うちは吹奏楽部が毎年、品川区の成人式の開会演奏に招かれているので今日も行ったら、『消費増税についてどう思うか』『何%なら賛成か?』とか項目を設けて、模擬投票でアンケート調査をやっていたよ。



——それは面白いですね！では、新成人のみなさんがこれから楽しみなことは？

坂本.. 楽しみというか、就活とかゼミとか新しいことが始まるので、先輩の大変さを見てみると、半分半分。
漆.. 嬉しいけど、先行き順調かどうか？

坂本.. そうなんです。ホントに就職できるのか！？つて (笑)

——何を指して大学へ？

坂本.. 卒業した時は「これやりたい！」というものがあつたんですが、入学してから「他にも道はあるよなあ」って気が付いて…逆に悩みました。それで今模索して、「ああ！色んなこと手を出さなきゃ！」つて (笑)
漆.. それでいいと思うよ。あなたが大学3年生になつたら、4年生で早目に内定出た卒業生や社会人の卒業生が、『就職情報交換会』で、色々アドバイスをくれるそうですよ。
——いい機会ですよ。山越さんが楽しみなことは？

山越.. …これとって無い… (全員笑) いやでも今はふわふわハタチを生きてて、30歳40歳になって振り返ったら楽しかったと思えると思うし、社会人になってできることも増えて充実していると思います。けどまだ卒業して2年しか経ってないのに、品女、相当楽しかったなって…

坂本.. **中西**.. **中村**.. そう！ (笑)

山越.. あの時はすごく大事な瞬間とも思わなかったけど、卒業して離れると、その時の楽しさがよりわかる





のかもしれないです。

——理事長先生は、みんなの制服のイメージ、まだ残っておられますよね？

漆…うん。こうして晴着を着ててもね。あなたたちの中にも、鮮烈に残っているんだろうね。

——では品女で学んだことで、今活きていることは？

中西…私は大学で学生をまとめる活動をしていて、書類作成とか、生徒会で学んだことが活かされていて、品女で6年学んで本当によかったと思います。

漆…それはよく聞きます。品女にいる時は気づかなかつたけど、自分は思っていた以上に発言力があつたとか、積極的だったとか。それは武器だと思えますよ。

山越…私も今、試合も会議も多いテニスサークルの幹部ですが、大学生って自由で、OBOGも多くてグダグダになるのを、何とかまとめられたりとか（笑）。

授業では、プレゼンや発表をかなりやりますが、他の子は一言一句原稿に書いていて、私はそこまでしなくても準備できるのは、経験してきたからなんだなと。

坂本…うちの学年は特に何でも言い合ってきたので、いい意味でちゃんと自己主張できる。それは、本当に活きていると思います。ね、思うよね。

山越…うん。

中西…うん。

中村…まとめる人がしっかりしていたからだと思えます。

——うまいことまとめますねえ（笑）



漆…それはね、みんな年々たくましくなってる。

新成人…たくましく！（笑）

漆…先輩たちの積み重ねを見ているからね。中学生の、他校生とのプレゼン発表を見ると、びっくりするよ。

坂本…普通に品女で生きてきた結果、こうなりました（笑）

漆…私はみんなの何倍も生きているけど、人生の中でも中高生の時期は、思い出が凝縮されているよね。でもその濃さが、私とあなたたちの時代では、何倍も違いますよ。食欲に何でも見てやろう、やってやろうと。だから私は、入学式でいつも言うんです。「うちの学校は、6年間で倍学べる学校だよ。だから遠慮しないで6年間をじゃんじゃん有効に使いなさい！」って。

——理事長先生がハタチというと、1955年頃…

漆…私の頃、成人式なんてあつたかなあ。私は九州の出身で、ハタチは学生で上京していたけど、都会と地方の差がすごくてね。情報も遅くて、流行は半年くらい後れていたから、都会の人は立派に見えたよ。

——その頃先生の夢は。

漆…教員になろうというのは、一応ね。そうそう、今年品川区の成人式では、区立小中学校ごとにブースを設けて、新成人が教わった当時の先生が待機しているね。「おめでとう！」「ありがとうございます！」って、声をかけ合っていたよ。

新成人…えーすごい！羨ましい！

漆…「大変いいことですねー」と区長に言ったら、「い



やあ、実は漆さんが何年前か前、区の成人式で『先生！成人しました！』って卒業生に囲まれているのを見て私立はいいなあとと思って、やってみたんです」と言われたよ。公立の先生は、学校変わってしまうから、先生も生徒もお互いに懐かしくて嬉しいよね。

——品川区長さんも、理事長先生も、本当にステキですね…。みなさんは今日も幹事だし、品女の委員会やクラブでも色々な企画を立てて来られたと思いますが、卒業した今こそ、在校生や学校のためにしてあげたいこととか、何かありますか？

中村…先日、4年の後輩から『文理選択で悩んでいます』と相談があつて。大学に入ってから広がる選択肢もあるので、文理や大学、学部を決める段階で、卒業生の経験や学部の様子をもっと個人的に聞けたり、悩みが話せたら、考え方も広がるかなと思うんです。

——つまり【就職情報交換会】の、大学受験版？

中村…はい。私は今、理系の薬学部で寮生活で、薬剤師の資格が取れて、他に化粧品会社とかに行けますけど、あまり道は広がらないです。そういう重要な選択を間違えると、後悔する人もいるかもしれない。

坂本…何したらいいのかわからなくなるくらい、広がる道もあるし…。(笑)

山越…一応、会みたいのはあつたよね。

中西…高1の時に、大学生の先輩が何人か講堂にいらして…。

中村…大学生活を話してくださるんですが、相談では



全然なくて。

山越…もつとピンポイントで聞きたいよね！

——それはぜひ今後芳葉会で、みなさんと先生方と一緒に実現できたらいいですね…！

では最後に新成人のみなさん、成人の抱負を一言。

新成人…え～！

——みなさんの人生に4倍すると理事長先生の御歳です。先生をご参考に、ぜひ。

坂本…私100まで生きたい！

山越…いい夢！

坂本…え！みんな違うの？こんなすてきな世界が、ずっと続くといいなと思います。

山越…私も先のことはわからないけど、今をずっと楽しく生きていきたいです。

中村…私は勉強が辛すぎて先のことを考えないと頑張れないので(笑)、こーやって品女の子とまた集まって、後輩のためにできることを考えながら、ちよつとずつ前に進もうと思います。

中西…私も大学や、目の前のことを頑張りながら、まずは28歳に向かって、これからも同期のみんなと楽しくやっていきたいです！

漆…ハタチは一つの節目だけど、これからは10年また10年が結構あつという間だから。節目節目に自分の居場所を思いながら、大切に過ごしていけたらいいですね。

——本日は誠にありがとうございました！

